

①⑥ネパール連邦民主共和国

Federal Democratic Republic of Nepal



プラティヴァ・ラナ閣下
Ms. Prativa RANA

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本 (書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Arresting God in Kathmandu Samrat Upadhyay

Seto Bagh Diamond Shamser

Blue Mimosa(Shirish ko phool) Parijat



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

The Red Hankey Krishna dip Sigdel

Every one is happy Krishna dip Sigdel

A Hundred Rupee bill Krishna dip Sigdel

⑪⑦バチカン

Vatican



ジョセフ・チェノットゥ大司教

Archbishop Joseph CHENNOTH

特に「フランシスコ教皇さまへ」はとても素晴らしい本です。世界中の子どもたちから現教皇に宛てて寄せられた一つひとつの手紙に教皇自身が答えています。子どもたちの質問もシンプルで本質をついていますが、教皇の答えもユーモアがあって、的確で、考えさせられる一冊です。子どもたちだけではなく、大人にも読みごたえのある本ですので、日本の多くの方に読んでいただければ大変嬉しく思います。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)

～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

新約聖書

回勅 ラウダート・シ とともに暮らす家を大切に

教皇フランシスコ/著 瀬本 正之、吉川 まみ/訳 カトリック中央協議会

平和の使徒 ヨハネ・パウロ二世 希望と愛をたずさえて

中井 俊己/著 ドン・ボスコ社

～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

フランシスコ教皇さまへ

世界の子どもたち/質問と絵 フランシスコ教皇/答え 片柳 弘史/訳 ドン・ボスコ社議会

～大使のおすすめ本～

聖書

⑮ パナマ共和国

Republic of Panama



リッテル・ノベル・ディアス・ゴメス閣下

Mr. Ritter Nobel DIAZ GOMEZ

『黄金の馬』はパナマの作家、ファン・ダヴィ・モルガンによる歴史小説です。モルガン氏は小説・短編小説・詩・エッセイ・新聞のコラムを書く作家でありながら、モーガン・モーガン法律事務所の代表を務める権威ある弁護士、さらに法学教授でもあります。過去に外務副大臣を務めたこともあります。

同書はカリフォルニアのゴールドラッシュの時代である19世紀に基づいた全448ページの小説です。歴史的な叙述と素晴らしい想像力により世界初の大陸横断鉄道の建設をめぐる繰り広げられる人々の苦しみや社会的変化を描き、世界中の人々に称賛を受けました。

最後に、東京オリンピック2020開催に伴い、このような重要な国際的イベントを企画された篠崎図書館の方々に祝福の意を表します。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

黄金の馬 パナマ地峡鉄道—大西洋と太平洋を結んだ男たちの物語

ファン・ダヴィ・モルガン/著 中川 晋/訳 三冬社

1855年に開業したパナマ鉄道建設の時代について描かれ、初めて日本語に訳されたパナマ文学です。是非、パナマの歴史に関する本を皆様で楽しみ頂ければ幸いです。

⑪ ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil



エドゥアルド・パエス・サボイア閣下

Mr. Eduardo Paes SABOIA

It is always a great pleasure to talk about books; they feed the soul, the heart and the mind. Brazil has many talented writers and an extraordinarily rich literature within which about two hundred books already translated into Japanese. Above, I mentioned just a few. In addition, one should not forget Sérgio Buarque de Holanda and his excellent book "Raízes do Brasil", considered one of the most important books on Brazilian historiography and sociology, a key book to understand Brazil.

It is also important to mention a Brazilian cartoonist, Maurício de Souza, one of the most brilliant artists in this field. His illustrated stories and his cartoon characters are known in Japan and enjoyed by both children and adults. Maurício de Souza had a personal friendship relation with Astro Boy's Tezuka Osamu, with whom he collaborated on manga projects.

I congratulate Edogawa Ward Shinozaki Library for the initiative and I hope many will be inspired to learn about other cultures and countries, especially in this period of great exchange stimulated by the upcoming Olympic and Paralympic Games. The ties of friendship between Brazil and Japan may be so strong that we hosted the previous games and now Japan will have the honor of hosting the 2020.

I take this opportunity to express my best wishes for the Tokyo Olympic and Paralympic Games. Thank you!

本について話すことは常に大きな喜びです。本は魂、心、そして知性を養います。ブラジルには、才能のある作家が数多くおり、非常に豊かな文学であります。その中の約 200 冊の書籍がすでに日本語に翻訳されています。上記の人たちを少し述べます。その上、セルジオ・ブアルケ・デ・オランダとその優れた著書「ブラジル人とは何か - ブラジル国民の研究」も忘れてはいけません。これはブラジルの歴史学と社会学に関する最も重要な本で、ブラジルを理解する鍵となる本です。

最も華麗なアーティストの一人であるブラジルの漫画家、マウリシオ・デ・ソウザにも言及させてください。彼の描く物語と彼の漫画のキャラクターは日本で知られており、子供と大人の両方に親しまれています。マウリシオ・デ・ソウザは、鉄腕アトムの手塚治虫とマンガのプロジェクトで協同したことがあり、彼と個人的な友好関係を築きました。

江戸川区立篠崎図書館のこの企画に賛辞を送ります。オリンピック・パラリンピックが間もなく開催されるということで人々の交流が活発になっているこの時期に、たくさんの方が外国やその文化について学ぶことを期待しています。

ブラジルと日本は固い友情で結ばれており、前回のオリンピックの開催地であったブラジルに続き、日本は 2020 年の開催国となりました。東京オリンピック・パラリンピックの成功をお祈りいたします。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Grande Sertão: Veredas Guimarães Rosa

「大いなる奥地」(世界文学大系83) ギマラエンス・ホーザ/著 中川 敏/訳 筑摩書房

Dom Casmurro Machado de Assis

「ドン・カズムーロ」 マシャード・デ・アシス/著 伊藤 奈希砂、伊藤 緑/訳 彩流社

A Obscena Senhora D Hilda Hilst

「猥褻なD夫人」 イルダ・イルスト/著 四方田 犬彦/訳 エートル叢書



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

O Meu Pé de Laranja Lima José Mauro de Vasconcelos

「ぼくのオレンジの木」 ジョゼ・マウロ・デ・ヴァスコンセーロス/著 松本 乃里子/訳 ポプラ社

O Saci Monteiro Lobato

「いたずら妖怪サシー密林の大冒険」 モンテイロ・ロバート/著 小坂 允雄/訳 こどもの未来社

O Menino Maluquinho Ziraldo

「やんちゃなマルキーニョ」 ジラルド/著 松本 乃里子/訳 静山社



～大使のおすすめ本～

Raízes do Brasil Sérgio Buarque de Holanda

「ブラジル人とは何か — ブラジル国民の研究」

セルジオ・ブアルケ・デ・オランダ/著 宮川 健二/訳

②①ベナン共和国

Republic of Benin



アデチュブ・マカリミ・アビソラ閣下

Mr. ADECHOUBOU Makarimi Abissola

For Tokyo 2020 Olympic Games, Benin will have five (05) great athletes who are:

- Noëllie Yarigo: Osaka Grand Prix 2019 (800m)
- Océane Ganiero: Karateka, host of the city of Satté (February 2019)
- Celtus Dossou-Yovo: judoka (he will be staying in Japan in September 2019)
- Judicaël Kiki: Taekwondo, winner of the Austrian Games (May 2019)
- Odile AHOUANWANOU: 100m hurdle, long jump and high jump.

Olympe Beli Quenum is the son of a priestess of Voodoo. He was born in 1928 in Ouidah and holds a master's degree in socio-anthropology at the University of Sorbonne Paris Pantheon I. He is the author of the novel ""an endless trap"" which traces the tragic story Ahouna, a young Beninese from northern Benin during the colonial period. His happy and bucolic childhood, obscured by the suicide of his father, his marriage that the jealousy of his wife Anatou makes unbearable, then the hallucinante leak panic which, meetings in nightmares, finally leads to the absurd gesture of the assassination of Kindou, the woman emerges from the night. Arrested, tried, imprisoned Ahouna is a victim of the cruelty of men. Removed by subterfuge, he perished on a pyre of revenge erected by the nephews of Kindou. The son of a prominent local, his family owns valuable land and livestock. All is not rosy. The epidemics hit the cattle, the locusts massacred the plantations, forced labor imposed by the colonial administration even affect this wealthy family and whose father refuses this humiliation by committing suicide. Life is not a long calm river but Ahouna manages to rebuild and make fruit with his brother-in-law the family goods when he meets the beautiful Anatou. This sublimated relationship will bring to Ahouna the best but especially the worst. Olympe Bhely-Quenum condemns the reader, through his expert pen and advised, to witness the debasement of an innocent being, the deployment of the beast that slumbered in him. There is a pillory of a blissful innocence and the imprisonment in an endless trap of the young Ahouna.

"

東京 2020 年オリンピックには、ベナンから 5 人の優秀な選手が出場を予定しています。

- ノエリー ヤリゴ (セイコーゴールデングランプリ陸上 2019 800m)
- オセアン ギャニエロ (空手家 ベナンのホストタウン幸手市に 2019 年 2 月滞在)
- セルチェス ドス-ヨボ (2019 年 9 月日本に滞在予定)
- ジュディカエル キキ (2019 年 5 月オーストリア大会優勝)
- オディール アウアンワヌ (100m ハードル、走り幅跳び、走り高跳び)

1928 年、ブドゥー教の女性祭司の息子としてアトランティック県ウイダーに生まれたオリンプ ベリ キューナムは、パリ第一パンテオン・ソルボンヌ大学にて社会人類学の修士号を修得しました。『無限の罠』という、植民地時代に北部ベニ出身の若いベナン人アハウナの悲劇的生涯を追った小説の作者です。幸せでのどかな子供時代は父の自殺によって遮られ、結婚は妻アナトゥの嫉妬により耐えられないものとなりました。幻覚により悪夢を見るようになり、夜出現した女性キンドゥを暗殺するというおかしなことを引き起こしてしまいました。逮捕され、裁判にかけられ、収監されたアハウナは人間の残酷さの犠牲者です。言い訳することなくアハウナは、キンドゥの甥が積み上げた復讐の薪で葬られました。地元の名士の息子であり、家族は高価な土地や家畜を保有していました。全てがバラ色というわけではないのです。伝染病が家畜を襲い、イナゴの大群が農地を破壊し、植民地政策による強制労働はこの豊かな家族にも影響を与えました。父親は自殺することでこの屈辱に対し拒否を示したのです。人生は長い静かな川のようにはいかないものですが、アハウナは美しいアナトゥに会った時、農園を再建し、義理の兄弟と果物を栽培しているところでした。アナトゥとの素晴らしい関係は、アハウナに最高且つ最悪な状況をもたらしました。オリンプ ベリ キューナムは豊富な作品を通じて、読者に潔白な人の品位がその人の中に眠る獣性を呼び覚まされることで悪化していく様の証人となることを強いています。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Doguissimi

Un piège sans fin Olympe Bhéli-Quenum

L'arbre fétiche Jean-Pliya



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Bovi, le petit cabri Béatrice Lalignon GBADO

Bovi et le petit miroir

Bovi sait compter

Toutou et le sachet.

Kouaba, le village en sursis

le rêve de Siba

kaïvi, l'enfant placée

le planteur et la bague

la gifle

le nénuphar de Bola

Hêdomey



～大使のおすすめ本～

Un piège sans fin Olympe Bhéli-Quenum

②1ベネズエラ・ボリバル共和国

Bolivarian Republic of Venezuela



セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ閣下

Mr. Seiko Luis ISHIKAWA Kobayashi

I want to extend my sincere thanks to the Edogawa Ward Shinozaki Library, on behalf of the Embassy of the Bolivarian Republic of Venezuela and on my own; for the invitation to participate in the Exhibition Ambassadors' Recommendations: Books from My Country. It is a great opportunity to bring the Venezuelan and Japanese peoples and cultures closer through the dissemination of important literary works. Serve the celebration of the Olympic and Paralympic Games in Tokyo next 2020 so that occasions like these can multiply.

「大使のお薦め」にお誘いいただき、ベネズエラ・ボリバル共和国大使館を代表して、そして私個人としても、江戸川区篠崎図書館に心より感謝いたします。素晴らしい文学作品を通して、ベネズエラ・ボリバル共和国の人々と日本の人々および日本文化がより近いものになる絶好の機会です。2020年に東京で開催されるオリンピックとパラリンピックの祝典では、このような機会が増えることを願っています。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)

～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

De la conquista a la independencia Mariano Picón Salas

「イスパノアメリカ史」 M. ピコーン＝サラス/著 G. アンドラーデ/訳 河出書房新社

Lope de Aguirre, príncipe de la libertad Miguel Otero Silva

「自由の王ローペ・デ・アギーレ」 オテロ＝シルバ/著 牛島 信明/訳 集英社

Doña Bárbara Rómulo Gallegos

「ドニャ・バルバラ」 ロムロ・ガジェゴス/著 寺尾 隆吉/訳 現代企画室

～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Canta, Pirulero Manuel Felipe Rugeles

Manzanita Julio Garmendia

Various children's stories Aquiles Nazoa

～大使のおすすめ本～

(For adults) **Para Pita Pon** Laura Stagno

「ばらびたぽん」 ラウラ・スタニョ/著 PHP 研究所

(For kids) **Doña Bárbara** Rómulo Gallegos

「ドニャ・バルバラ」 ロムロ・ガジェゴス/著 寺尾 隆吉/訳 現代企画室

②② マラウイ共和国

Republic of Malawi



グレネンガー・キドニー・ムスリラ・バンダ閣下

Mr. Grenenger Kidney Msulira BANDA

Malawi is in southern Africa. She measures 118,484 square kilometres of which 20 percent is water. She became a British protectorate in 1891 and was a colony until 1964 when she attained political independence. The political system is multiparty democracy and holds elections every 5 years. It has a unicameral parliament with 193 Members of Parliament representing their constituencies. Voting system is First Past the Post and follows presidentialism.

The economy is small with an estimated US\$6.5 billion for a population of 17.5 million. The economic potential however is enormous as various investment opportunities remain unexploited in agriculture and agro processing, mining, tourism, telecommunication and many other areas. In 2015, Malawi development a Compendium of Investment Projects which is available on website for Malawi Investment and Trade Centre (MITC). Malawi has been undertaking reforms to improve both public service delivery and ease of doing business. All these efforts aim at making Malawi more and more investor friendly.

Malawi enjoys peace and has peace loving people earning the country 'the warm heart of Africa'. You move in town or village you are assured of smiles and friendly people who are ready to be of help if there is need. Your car gets stuck in the mud or gully, Malawians will come to your help without expecting a payment. You want to ask for direction, Malawians will generously give you their time to explain the direction without expecting a token.

You are yet to claim to have visited Malawi if you do not taste our Chambo fish, do not see and relax along the beaches of our fresh water Lake Malawi, you do not watch our traditional dances and indeed you have not visited our national parks and game reserves.

マラウイは南部アフリカにあります。118,484 平方キロメートルで、その 20 パーセントは水です。1891 年にイギリスの保護領になり、1964 年に独立した政治植民地になりました。政治体制は多党制の民主主義であり、5 年ごとに選挙が行われます。選挙区を代表する 193 の国会議員を有する一院制議会です。投票システムは大統領制に従います。

経済規模は小さく、人口は 1750 万人で 65 億ドルと推定されています。しかし、農業や農産物加工、鉱業、観光、電気通信、その他多くの分野で経済的可能性は非常に大きいです。2015 年、マラウイは、マラウイ投資追跡センター（MITC）のウェブサイトです。入手可能な投資プロジェクトの概要を説明しています。マラウイは公共サービスの提供と業務のしやすさの両方を改善するための改革に取り組んできました。これらすべての取り組みは、マラウイをますます投資家に優しいものにすることを目指しています。

マラウイは平和を享受し、「アフリカの温かいハート」である平和を愛する人々がいます。あなたが町や村にきたら、必要があれば助けようとしている友好的な人々とその微笑みに癒されます。あなたの車が泥や溝で動けなくなったら、マラウイ人は無償であなたを助けます。あなたが道を尋ねたいとき、マラウイ人は道案内の労をいりません。

是非マラウイに来て、チャンボという魚を味わってください。また、私たちの淡水マラウイ湖のビーチに沿ってリラックスしてください。伝統の踊りを観たり、国立公園や保護区を訪れたりしてください。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Gazing at the setting sun Professor Francis Moto

Nobody' s friend Sam Mpasu

Malawi Parliament Henry Chimunthu Banda

Napolo Professor Steve Chimombo



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Familiar stranger

Study master for mathematics, biology, chemistry and physics

Rise and excel with Geography



～大使のおすすめ本～

Nobody' s friend Sam Mpasu

②③マリ共和国

Republic of Mali



ジャラ・カマラ・マリエトゥ臨時代理大使

Mrs. CAMARA Mariétou DIARRA (Chargé d'Affaires a.i.)

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名ほか)



～日本に住んでいる人、特に中高生にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション

- 1) Massa Makan Diabaté :
 - Une Hyène à jeun (1988) • L'Assemblée des Djinns (1985)
 - The trilogy of Massa Makan Diabaté:
 - Le Lieutenant de Kouta • Le Boucher de Kouta • Le Coiffeur de Kouta
 - (The International Grand Prix of the Léopold Sédar Senghor Foundation in 1987)
- 2) The trilogy of Fatoumata Keita :
 - Sous fer (2013) • Quand les Cauris se taisent • Les Mamelles de l'amour
- 3) Oumou Ahmar Traoré : Mamou, épouse et mère d'émigrés
Bamako : Editions Asselar, 2007
- 4) Seydou Badian Kouyaté : Sous l'Orage (published in 1957)
- 5) Yambo Ouologuem: Le Devoir de Violence 1958 (Renaudot Award)
「暴力の義務」 ヤンボ・ウオロゲム/著 岡谷公二/訳 新潮社
- 6) Awa Keita: La vie d'Awa Keita (Grand Prix littéraire d'Afrique noire in 1976)
Autobiographical work published in 1975
- 7) Adame Ba Konaré:
Her Volume " Ces mots que je partage - Discours d'une Première Dame d'Afrique" .
Published by Jamana includes 46 speeches delivered between 1992 and 1998
 - Dictionnaire des femmes célèbres du Mali des temps mythico-légendaires au 26 mars 1991
Bamako : Jamama, 1993
 - Les os de la parole
- 8) Amadou Hampâté Ba : Amkoullel l'enfant Peul (Roman autobiographique)
「アフリカのいのち : 大地と人間の記憶/あるプール人の自叙伝」
アマドゥ・ハンパテ・バー/著 樋口裕一, 山口雅敏, 富田高嗣/訳 新評論
- 9) Youssouf Tata Cissé : La charte du Mandé et autres traditions du Mali
- 10) Moussa Konaté :
Romans : L'Empreinte du renard, Fayard Noir, 2006
 - Goorgi, Le Figuier, Bamako, Mali, 1998
 - Le Prix de l'âme, Présence Africaine, Paris, 1981Contes : Sitan, la petite imprudente, Le Figuier, Bamako, Mali, 1997
 - Barou et sa méchante marâtre, Le Figuier, Bamako, Mali, 1997
 - Les trois gourmands, Le Figuier, Bamako, Mali, 1997
- 11) Anta Barry:
"Le Mali Entre Tourments et Espoirs", Les Éditions la Sahélienne, 2017
- 12) Awa Maiga : " Le Réussite A quel Prix ?" , Les Éditions du Net, 06/10/2018



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

- 1) • [Yowa le petit dromadaire](#) , release date : 2006, Editor : Le Figuier
• [Quand la lune a sommeil](#) , release date : 2006, Editor : Le Figuier
• [En attendant la fin de l' hivernage](#) , release date : 2005
Author : Nana Aissa Touré, Illustrator: Dominique Mwankumi:

- 2) • [La chèvre paysanne](#), release date : 2001
Author: Yacouba Diarra

- 3) • [Le Pays dogon](#)
Author: Moussa Konaté and Aly Zoromé

- 4) Youth Literature :
• [Les Mondes Dogon](#),
Moussa Konaté and Aly Zoromé, Parution : 03-06-2002
• [La savonnière](#), [Le Figuier](#), Bamako, Mali, 2003, Moussa Konaté and Aly Zoromé
• [La Fileuse](#), [Le Figuier](#), Bamako, Mali, 2003, Moussa Konaté and Aly Zoromé

Collection " Métiers d' Afrique" :

- [La Teinturière](#), (Le Figuier Mali, 1985), Moussa Konaté and Aly Zoromé
- [Le Tisserand](#), (Le Figuier Mali, 1985), Moussa Konaté and Aly Zoromé
- [La Potière](#), (Le Figuier Mali, 1983), Moussa Konaté and Aly Zoromé
- [Les Mineurs du désert](#), Moussa Konaté and Yacouba Diarra
- [La Savonnière](#), (Le Figuier Mali, 1985), Moussa Konaté and Aly Zoromé
- [Le Forgeron](#), Moussa Konaté and Yacouba Diarra
- [La Fileuse](#), (Le Figuier Mali, 1985), Moussa Konaté and Aly Zoromé

Collection " Voyage jeunesses" :

- [Le Pays Dogon](#), Moussa Konaté and Aly Zoromé
- [Tombouctou](#), Moussa Konaté and Aly Zoromé
Djenné, Moussa Konaté and Aly Zoromé

Collection Kunkurunni :

- [Quand la lune a sommeil](#)
- [Le Voyage autour du monde des trois amis](#), Moussa Konaté and Aly Zoromé
- [Yowa](#), le petit dromadaire

- 5) • [Histoire - 6 ème année](#)- Mali(Manuel)

Moussa Sanogo, Sidibé Raharinjanahay, Mory Famanta, Makan Traoré, Famoro Keita, Youssouf Konandji
Editor : DONNIYA (01/01/2001)

②④ ミャンマー連邦共和国

Republic of the Union of Myanmar



トゥレイン・タン・ズィン閣下

Mr. Thurain Thant Zin

I would like to express my appreciation to the visitors for interesting in reading. Like a saying "Reading is a window to open the world", the more you read, the more you know the world and people surrounding you. I strongly believe that the people who are visiting the exhibition can get knowledge and great satisfaction from the book list displaying by each country.

この企画展示をご覧になる皆さま、読書に興味を持っていただいたことに感謝いたします。「読書は世界を開くための窓です」と言われるように、読書をすればするほど、世界とあなたを取り巻く人々をより理解できます。企画展示に訪問された人々は各国の書籍リスト展示から知識と大きな満足を得られると確信しています。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Thway Journal Kyaw Ma Ma Lay

「血の絆」 ジャーネージョー・ママレー/著 原田 正春/訳 毎日新聞社



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Nha Lone Thar A Ha Ra Sar Su Myar

(meaning is encouraging for mind and thoughts) Pe Myint



～大使のおすすめ本～

State-Building: Governance and World Order in the 21st century

Francis Fukuyama

②⑤メキシコ合衆国

United Mexican States



アルマンド・アリアガ臨時代理大使

Mr. Armando ARRIAGA (Chargé d'Affaires a.i.)

Mexico and Japan have been friends for more than 400 years, even before Mexico had its current name and was called New Spain, as it was a part of the Spanish empire. Since 1609, Mexicans and Japanese have cultivated a great understanding and a mutual interest in our cultures. That interest is quite remarkable in literature. The work of several Mexican and Japanese writers includes mentions to the other country. For Mexico, Octavio Paz, winner of the 1990 Nobel Prize stands out. He lived in Tokyo in 1952, being in charge of reopening the Mexican Embassy in Japan. Paz in collaboration with Eikichi Hayashiya, worked to translate into Spanish the masterpiece of Matsuo Basho "The Narrow Road to the Deep North" (Oku no Hosomichi). On the Japanese side, well-known writers such as Kenzaburo Oé and Haruki Murakami have also included various references about Mexico in some of their novels.

Mexico and Japan are friends in art and culture, but also in difficult times. Mexico has helped Japan during major disasters such as the great earthquakes of Kobe (1995) and Fukushima (2011) and Japan has shown its solidarity after the great earthquakes in Mexico City in 1985 and 2017. That is why we say that our people are friends in adversity, real friends.

We wish the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games to be a new opportunity to renew the bonds of friendship and interest in the cultures and books of Mexico and Japan. We wish that the Olympic and Paralympic Games of Tokyo 2020 will be a great success and a true opportunity to renew the bonds of friendship and peace between Japan, Mexico and the world.

メキシコと日本は、メキシコがスペイン帝国の一部であった新スペインと呼ばれていた頃から 400 年に亘り友好関係を築いて来ました。1609 年からメキシコ人と日本人は、お互いの国と文化に対し深い理解を育てて来ました。とりわけ、文学に対する関心は顕著でした。メキシコ人と日本人の作家の作品の中には、互いの国について取り上げたものもあります。メキシコでは、オクタビオ パズという 1990 年のノーベル文学賞受賞者が際立っています。1952 年、在日本メキシコ大使館再開の責任者として東京に住んでいました。パズと林家永吉（元駐スペイン特命全権大使）は松尾芭蕉の最高傑作『奥の細道』スペイン語版翻訳作成の為に、協業しました。日本側では、大江健三郎や村上春樹等、著名な作家がそれぞれの著書のなかでメキシコについて記述して来ました。

メキシコと日本は文化や芸術面でも良い関係を築いていましたが、それは難しい時代においても変わりませんでした。メキシコは 1995 年の神戸や 2011 年の福島震災の時に援助させて頂き、日本は 1985 年と 2017 年のメキシコシティでの震災の後、強い絆を示して下さいました。逆境の時の友人こそ本当の友人と言えます。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックが友情の絆を新たにし、メキシコと日本の文学や文化への関心が高まる機会となることを願っています。また日本とメキシコ、更には世界に平和をもたらすものとなることを祈念しています。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)



～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Pedro Páramo Juan Rulfo

「ペドロ・パラモ」 フアン・ルルフォ/著 杉山 晃/訳 岩波書店

La Región Más Transparente Carlos Fuentes

「澄みわたる大地」 カルロス・フエンテス/著 寺尾 隆吉/訳 現代企画室

Los Recuerdos del Porvenir Elena Garro

「未来の記憶」 エレナ・ガーロ/著 富士 祥子、松本 楚子/訳、現代企画室



～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

だいすきな ぼくのかぞく: リメンバー・ミー ～ミゲルの思い出～

マット デ・ラ・ペーニャ/著 アナ ラミレス/絵 中村 有以/訳 小学館

チャマコとみつあみのうま

清水 たま子/文 竹田 鎮三郎/絵 福音館書店

Lecturas clásicas para niños



～大使のおすすめ本～

El Laberinto de la Soledad Octavio Paz

「孤独の迷宮ーメキシコの文化と歴史」 オクタビオ・パス/著 高山 智博、熊谷 明子/訳 法政大学出版局

②⑥モルドバ共和国

Republic of Moldova



ヴァシレ・ブマコフ閣下

Dr. Vasile BUMACOV

Republic of Moldova is proud to cooperate with Japan ahead of Tokyo Olympic and Paralympic Games with vibrant exchanges with our host towns: Cities of Truoka from Yamagata and Tomi of Nagano Prefecture. Also, Our Embassy would like to introduce a writer from our country, who is speaking Romanian, a language which is related to Latin, as well French, Spanish, Italian and ones for children. The Embassy is grateful for the opportunity to feature in the exhibition a story authored by Moldovan writer Spiridon VANGHELI, who 2012, has been declared "Famous Author of Children's Book, Recognized and Translated Worldwide and Distinguished With The Golden Medal for Creativity" by Francis GURRY, Director General of the World Intellectual Property Organization. This story translated by the Embassy into Japanese is entitled "Guguta's Hat" from the series "Adventures of Guguta" about a famous boy character who lives in Moldvan village.

モルドバ共和国は、私たちのホストタウンである山形市の鶴岡市と長野県の東御市との活発な交流を通じて、東京オリンピックやパラリンピックを開催される日本と協力しあうことを誇りに思っています。また、モルドバ大使館はルーマニア語を話す児童文学作家を紹介させていただきます。ルーマニア語はラテン語、フランス語、スペイン語、イタリア語と同じ系統の言語です。私たちは本企画で、モルドバ人作家スピリドン・ヴァンゲリを紹介できることを嬉しく思います。彼は 2012 年に世界知的所有権機関の事務局長フランシス・ガリから世界的に翻訳、認知された素晴らしい児童文学作家として「ゴールドメダル フォー クリエイティビティー」を授与されました。モルドバの村に住んでいる有名な男の子のキャラクターについて書かれている「ググツェの冒険」シリーズの「ググツェの帽子」と題されています。この物語は大使館によって日本語に翻訳されました。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)

～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Adventures of Guguță Spiridon VANGHELI

～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Adventures of Guguță Spiridon VANGHELI

～大使のおすすめ本～

Submission Michel Houellebecq

②⑦ ラトビア共和国

Republic of Latvia



ダツェ・トレイヤ＝マスイー閣下

Ms. Dace TREIJA-MASĪ

My message is very short – please keep reading and enjoying books. That is an excellent pastime for everyone.

私のメッセージは非常に短いです。本を読んで楽しんでください。
それは全ての人のための素晴らしい娯楽です。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)

～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

Colorful Tales Imants Ziedonis

Soviet Milk Nora Ikstena

～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Sprīdītis Anna Brigadere

Flowers: Fairy Tales Anna Sakse

～大使のおすすめ本～

Colorful Tales Imants Ziedonis

②⑧ リトアニア共和国

Republic of Lithuania



ゲディミナス・バルブオリス閣下

Mr. Gediminas VARVUOLIS

Lithuania and Japan are closely linked by heritage of Chiune Sugihara, the Japanese Consul, who worked in Lithuania in 1939–1940 and saved lives of more than 6000 Jewish refugees by issuing Japanese transit visas. Next year we will commemorate the 80th anniversary of issuance of "visas for life" by Chiune Sugihara in 1940 in Kaunas, Lithuania. I would like to take this opportunity to pay tribute to this brave man and to recommend to us all to learn more about that remarkable page in history of the 20th century through books and movies about it that are available in the Japanese language.

リトアニアと日本は、1939-1940年にリトアニアで働いたことがあり、日本のトランジットビザを発行することによって6000人以上のユダヤ人難民の命を救った、杉原千畝日本領事の遺産によって密接につながっています。来年は、杉原千畝氏による「生命を救うためのビザ」が1940年にリトアニアのカウナスで発行されてから80周年を迎えます。この機会を利用して、私たちみんなが、この勇敢な人に敬意を表し、20世紀における注目すべき歴史の1ページについて、日本語の本や映画を通して学ぶことをおすすめしたいと思います。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)

～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

杉原千畝氏に関する書籍

～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

KAKE-MAKE (今年または来年世界文化社より日本語翻訳版出版予定)

※リトアニアの子供たちにとっても人気のある絵本です。

～大使のおすすめ本～

リトアニアの歴史

アルフォンサス・エイディンタス ほか/著 梶 さやか ほか/訳 明石書店

②⑨ リビア

Libya



アメッド・エム・アール・ナイリ臨時代理大使

Dr. Ahmed M. R. NAILI (Chargé d'Affaires a.i)

I have the honor to acknowledge the receipt of your letter dated 31 May, 2019 about the upcoming exhibition of the Edogawa Ward Shinozaki Children's Library.

I would like to take this opportunity to extend my sincere appreciation and congratulation for holding such an important and timely exhibition to celebration Japan's friendship with the world especially with the upcoming Tokyo Olympics and Paralympics 2020 through activities centered on children.

No doubt, the children of Japan will be able to enjoy the upcoming Olympics and treasure memories for years to come by also building friendships between themselves and children from other countries. Once again, I congratulate you for this initiative and I am sure such exhibition will be successful and provide useful leaning opportunities for the children in japan. Please accept my heartfelt felicitation for the successful outcome.

この企画展示に参加させていただき光栄です。

日本が世界との友好、特に今度の東京オリンピック・パラリンピック 2020 における友好を実現させるため、子どもを中心とした活動を通して、重要でタイムリーな企画展示を開催するというこの機会に私は心からの感謝と祝福の意を表したいと思います。

日本の子供たちは、他国の子供たちとの間に友情を築くことによって、今度のオリンピックを楽しみ、今後何年もの間、思い出を宝物として持ち続けるに違いありません。繰り返し申し上げますが、私はあなたがたの取り組みを祝福するとともに、この企画展示が成功し、日本の子供たちに有益な学習の機会を提供すると確信しています。成功を心からお祈りいたします。

③⑩ ルーマニア

Romania



スヴェトラナ・タティアナ・ヨシペル閣下

Mrs. Svetlana Tatiana IOSIPER

There are two important things that can enrich our lives: the books that we read and the people we meet. I hope you have a chance to enjoy Romanian literature and to open the doors to a new culture and a new universe, leading to better understanding and peace.

私たちの生活を豊かにすることができる、重要なことが2つあります。それは私たちが読む本と私たちが出会う人々です。ルーマニアの文学を楽しむとともに、新しい文化や新しい世界への扉を開いて、より良い理解と平和につながる機会を得てください。

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本

(書名 著者名)

～日本に住んでいる人にぜひ読んでもらいたい自国の文学作品またはノンフィクション作品～

O scrisoare pierduta playwright: I. L. Caragiale

Maitreyi Mircea Eliade

「マイトレイ」(世界文学全集) ミルチャ・エリアーデ/著 住谷 春也/訳 河出書房新社

Morometii Marin Preda

Arta conversatiei Ileana Vulpescu

～日本の子どもにぜひ読んでもらいたい自国の作品～

Cartea cu Apolodor Gellu Naum

Fram, ursul polar Cezar Petrescu

～大使のおすすめ本～

Accidentul Mihail Sebastian

③1 レソト王国

Kingdom of Lesotho



パレサ・モセツェ閣下
Dr. Palesa MOSETSE

The Mountain Kingdom of Lesotho would like to extend her smiles and friendliness to all the attendees and urges you to be “swifter, higher and stronger.”

Khotso, Pula, Nala

(Peace, Rain, Prosperity)

山の王国レソトは、私達の笑顔と友情が全ての参加者に届くことと、皆さんが『より速く、より高く、より強く』あるようにと願っています。

Khotso, Pula, Nala (平和、雨、繁栄)

日本に住んでいる人に読んでほしい自国の本
(書名 著者名)



～大使のおすすめ本～

The Search for the True Love PITSENG

CHAKA Thomas Mofolo

Liapole Tsa Gauda G.C. Manyeli